

日本経済の底力 **モノづくりで勝つ!**

偉人列伝 / 永山武臣

時代を切り拓く
経済の新潮流



経済界

平成23年2月22日発行
(隔週火曜日発売)
第46巻第4号(通巻937号)
昭和45年9月3日第3種郵便物認可

2011 No.937

2.22

隔週火曜日発売
定価 600円

日本経済の底力

モノづくりで 勝つ!

インタビュー

「製造業は今こそ
“最適地生産”の意味を
意識する必要があります」

ミネベア社長 **貝沼由久**

レポート

円高で巨額の損失が発生
メガバンクが売りまくった
「為替デリバティブ」の
落とし穴

宇宙航空研究開発機構理事長

立川敬二

岡野工業代表社員

岡野雅行



高円宮妃殿下より「金色有功章」を受章する
小笹公也会長兼CEO

「金色有功章」受章 社会貢献活動に 積極的なオンテックス

オンテックス(本社・大阪市浪速区)の小笹公也会長兼CEOが、日本赤十字社への社資協力および今年の奉仕活動による功績が認められ、昨年11月16日、ホテルニューオータニ大阪で開催された「平成22年度大阪日赤社員のごとく」にて、日本赤十字社名誉副総裁・高円宮妃殿下より「金色有功章(個人)」を受章した。

同社では、これまでも社会貢献活動を積極的に行っており、昨年末には、社団法人セーブ・ザ・チル

ドレン・ジャパンへの寄付(寄付金額100万円)も行っている。

セーブ・ザ・チルドレンは、世界中のすべての子どもが子どもらしく生きることができ「子どもの権利」を実現するために生活の改善を目指している国際NGO。1919年イギリスで設立されて以来、90年以上の活動を行っている。

オンテックスでは、主な事業である住宅リフォームを通じて、そこに住む施主の子、孫の代まで末永く安心して快適な住環境を受け継いでほしいという願いを持っている。しかし、世界では、貧困を原因とする病気や飢えで子どもが亡くなっている状況が続いている。そこで、オンテックスが今できることとして、世界中の明るい未来のために、「地球、大好き。」というキャッチコピーのもと、「セーブ・ザ・チルドレン」の活動を支援サポートしている。

同社では、今後も貧困状態にある人々に対する救済活動を通じて、社会貢献を続けるとともに、リフォーム事業においても、地球温暖化、環境問題に関する分野に積極的に取り組んでいくという。

東京デイズニールランド がシアター型3Dアト ラクシオンをオープン

東京デイズニールランド(経営母体はオリエンタルランド。本社千葉県浦安市、上西京一郎社長兼CEO)は1月24日、新アトラクション「ミッキーのフィルハーマジック」をオープンさせた。内容は、ミッキーマウスが指揮するオーケストラの演奏会に招かれたゲスト(来園者)が、デイズニーを代表するコンテンツ、「美女と野獣」「ファンタジア」「リトル・マーメイド」「ライオンキング」「ピーター・パン」「アラジン」の世界を次々に巡っていく、というシアター風の「味付け」。目玉は何といつても迫力のある3D映像で幅42mの巨大スクリーンは圧巻。加えてシアター内を吹き抜ける風や甘い香りなど、最新技術を駆使した特殊効果も注目。所要時間約11分、座席数454席、総投資額約6億円。

問い合わせ先/インフォメーションセンター ☎0570-0018632

「バイオニア プラザ 銀座」が2月19日にオ ープン

バイオニア(本社・神奈川県川崎市、小谷進社長)は、2月19日に東京・銀座マロニエ通りに「バイオニア プラザ銀座」(住所・東京都中央区銀座2-5-11 デビアス銀座ビルB1~2階)をオープンする。

同社の次世代車載用表示デバイス「ヘッドアップディスプレイ」や最新のカーエレクトロニクス製品などを展示するほか、本格的な視聴室を完備し、ハイエンドオーディオ機器の視聴やミュージックライブなどが楽しめる施設になっている。

同社では「バイオニア プラザ銀座」を通じて「今のバイオニア、これからのバイオニア」を知ってもらいたいとしている。

<http://pioneer-ginza.jp>

〈お詫び〉

2月8日号の特集「ANAの逆襲」で、富田光欧氏と柴田洋氏の顔写真を取り違えて掲載してしまいました。お詫び致します。(編集部)